

PHJ メールニュース 2011 年 4 月号

送信日時： 2011 年 4 月 21 日



ピープルズ・ホープ・ジャパン (PHJ) メールニュース読者の皆様

連日東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故のニュースが報道されております。一日でも早く被災地の皆様が安定した生活を取り戻すことができるよう願ってやみません。

PHJ メールニュース 2011 年 4 月号を配信いたします。4 月号では PHJ が行っている東日本大震災支援募金活動についてのご報告とタイ、インドネシア、カンボジアでの活動をお知らせいたします。

このメールニュースは配信を希望するとの連絡を送っていただいた方々、PHJ 運営委員 (オブザーバーとして出席されている方を含む) の方々、および PHJ を支援してくださっている方々にお送りしています。

.....
PHJ メールニュース 4 月号目次

1. PHJ 本部のニュース

- 1-1. 「東日本大震災」緊急支援募金について
- 1-2. 被災地の診療施設の IT 支援
- 1-3. 欧州ビジネス協会も PHJ の支援活動に賛同しています
- 1-4. ホープニュース 56 号、PHJ News 56 を発行いたしました

2. PHJ タイ事務所のニュース

- 2-1. 東日本大震災支援募金 Tシャツプログラム
- 2-2. HOPE パートナー教育
- 2-3. 子宮頸がん・乳がん検診推進

3. PHJ インドネシア事務所のニュース

- 3-1. PHJ のインドネシアでの活動説明会
- 3-2. 保健改善、母子健康改善活動 — テイルタヤサ自治区
- 3-3. 栄養改善活動 — テイルタヤサ自治区

4. PHJ カンボジア事務所のニュース

- 4-1. 東日本大震災 —カンボジアからの応援
- 4-2. 保健センター運営向上、村とのネットワーク向上 — コンポントム州

4-3. 衛生推進と栄養教育

4-4. 「安全なお産」、あと 200 人分の支援を

.....

1. PHJ 本部のニュース

1-1. 「東日本大震災」緊急支援募金について

3月のメールニュースでお知らせしましたが、PHJ は定款に記載されている災害救援活動として3月15日から東日本大震災の支援募金を開始いたしました。

【災害募金】 <http://www.ph-japan.org/supportPHJ/personal/donation.html>

頂いた募金は全日本病院協会による被災地への医療救護班の派遣等に使用させていただきます。医療救護班の活動については東日本大震災 活動ブログをご覧ください。

http://blog.livedoor.jp/ph_japan-saigai/

これまでに募金してくださった方々から次のような温かいメッセージを頂いています。「被災された皆さんが一日も早く立ち直れるよう心からお祈りしています」「いまこそみせよう 日本の底力」「阪神大震災で震度 7 の激震地で生かされました。先は長い道のりだと思いますが、負けないで！日本を信じて前向きに頑張ってください。必ず明日は来ます！！」

PHJ タイ事務所、カンボジア事務所、インドネシア事務所でも東日本大震災の支援プログラムを実施してくれました。詳細は各事務所のニュースをご覧ください。

1-2. 被災地の診療施設の IT 支援

PHJ は法人会員の日本ヒューレットパッカード株式会社(日本 HP)様から寄付していただいたパソコン300台とプリンター100台を全日本病院協会へ寄贈いたします。4月末から順次被災地の診療施設などに提供して医療活動に使っていただきます。

<http://www.ph-japan.org/news/detail.php?q=news4daf82d5d667b>

1-3. 欧州ビジネス協会も PHJ の支援活動に賛同しています

日本で事業を行っている欧州企業の団体、欧州ビジネス協会、では東日本大震災の支援活動を積極的に呼びかけております。PHJ が全日本病院協会の被災地での医療救護支援のために募金を行っていることを評価して、協会として PHJ の東日本大震災緊急支援募金に賛同していることを会員に通知していただきました(英文)

<http://www.ebc-jp.com/index.php/disaster-relief-efforts/ebc-disaster-relief-fund>

1-4. ホープニュース 56号、PHJ News 56を発行いたしました

トップ記事に東日本大震災支援募金の報告を掲載したホープ・ジャパン・ニュース56号を4月15日に発行しました。PHJ News 56とともにホームページでご覧いただけます。

<http://www.ph-japan.org/about/newsletter/newsletter.html>

http://www.ph-japan.org/en/about/phj_news.html

.....

2. PHJ タイ事務所のニュース

2-1. 東日本大震災救援活動

PHJ タイ事務所では東日本大震災のニュースを知った事務所職員のみならず HOPE パートナー制度で支援をうけている障がいを持った子供たちの家族、提携している病院、大学、や保健事務所、ヘルス・ボランティアなどの方からお見舞いの言葉やご寄附を受け取りました。タイ事務所のスタッフは 「You are not alone」「がんばれ日本」などをタイ語、英語、日本語で表示した T-シャツとポロシャツを作り、寄付を募りました。集まった募金は日本円にして310,000円を超え、3月末から4月初めにタイに出張した東京事務所のスタッフに託されました。タイの皆様の温かい心にPHJスタッフはとても感動しました。

http://blog.livedoor.jp/ph_japan/

2-2. HOPEパートナー教育

1998年以來202名の患者を支援してきました。そのうち118名が卒業。現在67名の患者を67名の患者を65名のドナーが支援しています。3月サンパトン病院、チェンライ病院、サンサイ病院、RICD(ラジャナガリンドラ子供発達支援センター)での定例活動に合計38家族が参加。テーマは寄生虫病。また6名の患者の家庭訪問を実施しました。ラーニングセンターの利用者は129名でした。3月4日カーウイラ養護学校の学校開放日に障がい児用のゲームを企画。

2-3. 子宮頸がん・乳がん検診推進

3月にはサラピー郡、サンカンペン郡の病院や工場で12回検診キャンペーンを実施し合計1889名が受診。検診目標3月末50%に対し、サラピー郡で18.3%、サンカンペン郡で11.0%にとどまっている。今後いかに検診率をあげるかを要検討。3月27日サラピー郡、サンカンペン郡でヘルスボランティアデーで展示会やパレードに417名が参加。

外務省助成事業の2年目の活動地であるドイサケット郡、サンサイ郡の郡病院長に事業紹介を行いました。

3. PHJ インドネシア事務所のニュース

3-1. PHJ のインドネシアでの活動説明会

PHJ インドネシア事務所は法人会員の横河電機株式会社様のインドネシア関連会社の事務所内に置かせていただいています。4月18日、横河インドネシアの社員の皆様に PHJ インドネシア所長の伊藤より、PHJ のインドネシアでの活動、横河電機様の CSR 活動として助産施設を備えたクリニックをインドネシアで建設していただいたことなどを説明いたしました。国連ミレニアム目標に沿った活動を今後も同社と協力して行いたいと考えています。

3-2. 保健改善、母子健康改善活動 — テイルタヤサ自治区

3月はインドネシア政府の貧困撲滅キャンペーンのテーマ P4K(出産準備, 難産準備)をテーマに教育活動を実施しました。「出産予定日を知る」「出産介助人・場所の選定」「出産費用」「搬送手段確保」「血液提供者の確保」など個人で準備すること、村として体制を整えなければならないことの両面があるものの、一般的に村としての体制整備の課題が多い。

4つの村で保健改善プロモーションを実施。今月のテーマは「新生児・幼児の予防接種」と「授乳」。予防接種を受けさせない理由のひとつに「予防接種後に高熱を出す」が多かった。これに対し担当者、助産師が「熱を出すのは一種の接種反応で心配する必要はない」「予防接種を受けることは健康維持に重要である」ことを根気よく説明している。

3-3. 栄養改善活動 — テイルタヤサ自治区

3月も4つの村で3回目のメニューコンテストで提案されたメニューを普及する教育を実施しました。各村でのメニューは異なるものの「栄養バランスが大事であること」、その証拠として「健康な子供は食欲も旺盛で病気にかかりにくい」ことを強調し普及活動を行っている。3月のヘルスボランティア月例教育研修も国立栄養研修所の Widodo 氏の栄養不良児の不良状態を回復させる秘訣をテーマに研修。不良児の母親は子育て放棄の傾向があり、家庭の傾向分析手法と対処の指導を受けました。

4. PHJ カンボジア事務所のニュース

4-1. 東日本大震災：カンボジアからの応援

東日本大震災のニュースを見たカンボジア人のスタッフ、村人、政府関係者、NGO の友人たちが精一杯のお見舞いの言葉をかけてくれたりメールをくれたりしました。大勢の人たちが日本の被災者を心配し、応援したいと考えています。数名からは、日本大使館に行って記帳と寄付をしたとも聞きました。

毎年、横河ロクマル会のメンバーが訪問している小学校の校長先生が、昨日事務所に来ました。彼は、村の学校委員を中心として集めた日本への義援金を持ってきてくれました。

今回の地震や津波の被害の大きさは、多くのカンボジア人が知っており、おそらくテレビやラジオでの報道に加え、多くの人が村々で話題にしているのだと思います。特に呼びかけがあったわけでもなく、彼らはニュースを聞き、自発的に義援金を集めたのです。持ってきてくれた古いよれよれになった少額のお札の束を見て、本当にできるだけのことをしたいと思って集めてくれたという気持ちが伝わってきました。

http://blog.livedoor.jp/ph_japan/archives/51955040.html

4-2. 保健センター運営向上、村とのネットワーク向上 - コンポントム州

3月にはヘルスセンター助産師3名が1週間のリフレッシュトレーニングを受けました。妊婦健診・家族計画サービスのモニタリングでは4HCで100点満点で平均95点以上。衛生モニタリングは3月から各保健センター長がチェックすることになり、良好な成績をあげています。

ヘルスセンター主催で運営委員・ヘルスボランティア会議、伝統的助産師ミーティングも毎月1回開催されています。

10村で保健教育実施。トピックは「産後検診」参加者は一村平均42名、計416名でした。

4-3. 衛生推進と栄養教育

PHJがトイレ建設をサポートした30世帯のその後を調査したところ、29世帯が水の入った水瓶を設置し、衛生的にトイレを使用していることを確認しました。

11月から行っている栄養給食・教育活動はテイボワ地区タマイ村で週2回計9回実施。延べ数で子供638人、母親たち404人が参加しました。1回目はオリエンテーションで、2回目から教育活動を実施しました。

4-4. 「安全なお産」、あと200人分の支援を

2010年春から始まった「安全なお産」支援募金。みなさまからの支援により保健センターでの妊婦健診・分娩奨励キットを4つの保健センターを配布。3月までに累計で妊婦検診キット500、分娩奨励キット488を妊産婦に贈ることができました。しかしまだ妊婦健診・分娩奨励キット200セット分(200人分)の支援が足りません。引き続き皆様のご支援をお願いいたします。

http://www.ph-japan.org/supportPHJ/personal/kikaku.html#jirei_02

■ クリック募金にご協力ください！

イーココロ！クリック募金

ピープルズ・ホープ・ジャパンは募金サイト イーココロ！「クリックから世界が変わる、
毎日無料

のできるいいこと」に参加しています。 <http://www.ekokoro.jp/ngo/195/>

PHJ メールニュース 2011 年 4 月号を最後まで読んでいただきありがとうございます。
このメールニュースへのご意見、ご要望は info@ph-japan.org までお送りください。
次号の参考にさせていただきます。

またこのメールニュースの配信を希望されない方は info@ph-japan.org までメール
ニュース配信不要とご連絡ください。

発行者：

認定NPO法人

ピープルズ・ホープ・ジャパン

代表 木村 敏雄

広報 矢崎 祐子、南部 道子

〒180-8750

東京都武蔵野市中町 2-9-32

Tel:0422-52-5507 Fax:0422-52-7035

e-mail: info@ph-japan.org

URL: <http://www.ph-japan.org>

Copyright: 2011 ピープルズ・ホープ・ジャパン
